

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.770 2017

2017年10月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料62円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本町2番11号
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641
URL：http://www.ymcajapan.org/
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅
印刷／あかつき印刷株式会社



日本YMCA 新ブランドロゴ・スローガン

日本のYMCAは1880年に東京で始まり、この間、多様な分野でパイオニアとなる働きを全国各地で展開してきました。未来に視線を上げ、YMCAがこれからも必要とされ、多くの方々に選ばれる存在となるために、私たちは今、決意をもって新しい旗印となるロゴ・スローガンを掲げます。

新しいロゴとスローガンは第6回日本YMCA同盟協議会（6月17.18日）にて発表されました。10月から社会に向けて順次発表、発信していきます。



ひとりがよくなると 世界はきっと変わる

ひとりが「よくなる」と、どんなコトが起きるだろう。
ひとりが「よくなる」と、その人と出会った誰かがうれしくなる。
つまり、その人もきっと「よくなる」。

そして「よくなる」の繰り返しは
社会や世界をよりよく変えていく
チカラになると思うのです。

その人と出会った誰かが「よくなる」
そんな出会いとつながりを
YMCAはこれからも大切にしたいと考えています。

「よくなる」の連鎖は
やがて社会や世界を変えていくチカラとなっていく。
そしてきっと平和を形にしていく原動力となっていく。



あなたが、
したい何かを
「みつける」ために。

プログラム

YMCAは、多様なニーズに応えられるよう、幅広い活動を展開していきます。

あなたが、
「つながりたい」誰かを
探すために。

活動拠点

YMCAは、家族、コミュニティ、全国、世界の人びととの「つながり」の創出を大切にしていきます。

あなた自身の人生が
もっと
「よくなる」ために。

かけがえのない場所として

これからの世界に不可欠な、かけがえのない場所になっていきたい、YMCAはそう願っています。

初めまして、「ポジティブY」です

Brand Logo

新しいブランドロゴ、愛称は「ポジティブY」。
私たちが長く親しんで来た、赤三角形の「略章」に代わるものです。
鳥が飛び立とうとする瞬間の姿をモチーフにしたシンボルで、一人ひとりの生命の息吹、未来へ向かうポジティブな力、平和への想いを表現しています。

じっと見つめると、鳥が飛び立とうとする姿が、アルファベットのYにも見えてきませんか。その形が3つのパーツからなり、ブランドコンセプト「みつかる。つながる。よくなる。」の3つのValue（価値）と、今までの赤三角形に示された全人的成長「Spirit Mind Body」を内包し、これからYMCAが提供を約束する価値と、今までと変わらないYMCAの精神の両方が込められています。「YMCA」の文字も新たに形を整え、これまで「青年」を表していた青と、「情熱」を表していた赤の色調をYMCAブルー、YMCAレッドとして決めました。

ブランドロゴが変わっても「日本YMCA基本原則」に基づく精神は変わらず受け継がれ、更なるステージに向かって変化し、進化していきます。新しいロゴに価値といのちを吹きこんでいくのは、YMCAで活動する私たち一人ひとりです。



YMCAロゴ・ヒストリー



※今までの「正章」(上記3)は、歴史カルロゴとして残っています。

Brand Slogan

スローガンは、ブランドコンセプトのエッセンスを魅力的に伝える端的なメッセージです。

ブランドコンセプトのValue（価値）、「みつかる。つながる。よくなる。」の結びを、「よくなっていく。」としました。
よりよく生きたいという願いは誰にもあります。「よくなる」ことへの具体的な学びやチャンスはもちろん、それぞれのペースで段階的に「よくなっていく」ための時間や場所があり、寄り添う仲間や伴走者がYMCAには集っています。
出会いとつながりから生まれる「よくなる」チカラが連鎖して、一人ひとりが、そして地域が、社会が「よくなっていく」、そのような願いをこめています。



みつかる。つながる。よくなっていく。

Encounter Connect Transform

Brand Concept

“わたし”と“あなた”で創るポジティブネット

YMCAであなたは何をしていますか？

この質問に何種類の答えが返ってくるでしょうか。

「専門学校」「プール」「大学での聖書研究」「季節ごとのキャンプ」「英会話」「高齢者ホーム」「保育園」...。皆さんはきっと、それぞれの関心やニーズに合わせてYMCAに足を運んでいることなのでしょう。YMCAはこのような幅広い活動領域で、多種多様な特別な「場所」を提供しています。

YMCAは、そのような「場所」での“わたし”と“あなた”という存在を大切にします。YMCAに足を運ぶと、“わたし”と違う家族、学校、職場などに属していたり、年齢、生まれ持った特徴、性などの違いを持っていたりする、“あなた”に出会うことがあります。子どもたち、障がいを持った青年、外国人スタッフ、子育て中のお母さん、高齢の方。その一人ひとりが、知識や経験、得意とすることや不得意とすること、優しさや怒り、喜びや悲しみなどを持つ“わたし”と“あなた”です。

きっとこんな経験があると思います。“わたし”に何かいいことがあって、とてもうれしい時、“あなた”にその幸せを分けてあげたいと思う。“わたし”がとてもつらかった時、近くにいた“あなた”に話を聞いてもらう。“わたし”が助けてほしい、と素直に言える。“あなた”も助けてほしい、と素直に言える。例えば、YMCAの国際協力や災害支援はそれが顕著に現された形ですが、YMCAはみつかる・つながる・よくなるというValue（価値）を起点として、日常生活や、さまざまな課題を抱える社会においても、“わたし”と“あなた”が行動できる「場所」です。そして、Personality（パーソナリティー）はそのために行動する“わたし”と“あなた”そして“YMCA”の姿です。

その「場所」がいつか地域や世界に広がって、希望ある豊かな社会を創造するネットワーク「ポジティブネット」を創りだします。

YMCA Brand Concept

みつかる。つながる。よくなっていく。 YMCA

Vision

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」
互いの存在や個性を認め合い、高め合うことできる。
尊重や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。
課題の多い社会の中で、それは、生きるためのひとつの選択となっていく。
私たち日本のYMCAは、グローバルネットワークを基盤として
ポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

Value

したい何かがみつき、誰かとつながる。
私がよくなる、かけがえのない場所。

みつかる Encounter
つながる Connect
よくなる Transform

Personality

心をひらき、わかち合う。
前向きで、まわりを惹きつける
魅力を持つ。

Open & Sharing, Proactive & Attractive.

YMCAのチャレンジ

全国YMCAと共に

日本YMCA同盟では「YMCAブランドの再生」を求めて、YMCA本来の宝を今一度発見し、これからの時代に価値となるブランドコンセプトを昨年6月に発表しました。

2017年度は、このブランドコンセプトに基づき、全国のYMCAがさらなる協力・連帯をして「ポジティブネット」のある、豊かな社会の実現を目指そうと「日本YMCA中期計画2020」を策定し、全国YMCAが共に取り組みを開始しました。

さらにこれらのブランドコンセプトと中期計画を進めるために、このたびロゴを刷新し、新たなブランドスローガンを掲げました。新しいロゴは、伝統的なYMCAスピリッツに基づいた、日本YMCA基本原則が謳う「平和」を目指したもので、未来へ羽ばたいていこうとする、YMCAを象徴するものです。

神の国は、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種より小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉



の陰に空の鳥が巣を作るほど大きな枝を張る。
(マルコによる福音書 4:31-32)

「葉の陰の巣」は子どもとユースを中心にすべての人が安心して育まれていく場所の象徴であり、ユース自ら社会の課題を見つめ、自己と社会の変革のためのアクションに向かっていく場所となることを目指しています。そして、私たちはYMCAから「ポジティブネット」が世界に広がっていくビジョンを共有し、この空の鳥が集い、互いに寄り添って巣を作るように、人びとを引きつけ、そ

こにかけがえのない場所を見いだすことを目指しています。

「日本YMCA中期計画2020」は、ユースが主体となるYMCAを再構築し、その事業の質を高め、人びとからの共感、支援、賛同する会員の増加を目指すものです。ポジティブネットのある豊かな社会を創る決意と希望をもって、新しいロゴ・スローガンを共に高く掲げてまいりましょう。

皆さまの、ご支援とご協力をお願いいたします。
日本YMCA同盟 総理事 神崎清一

グローバルユースカンファレンス

【大阪YMCA】

大阪YMCAは2015年より、若者の若者による若者のための国際会議、グローバルユースカンファレンス（GYC）を毎年夏に開催しています。これは、会議だけではなく、アウトドアやカルチャーナイトなど海外からの参加者との交流と相互理解を深める機会となっています。参加者は4つのテーマで議論を深め、最後に一つのテーマに絞って議会形式で議論し、解決策、または共同声明を出します。



熱心なディスカッションの様子

カンファレンスには、大阪YMCAで研修する、東南アジアやアメリカ、オーストラリアのYMCAからの約30人のインターンに加え、海外と国内から募集したユースが参加します。今年8月7～10日に開催され、19の国と地域からのインターン約30人、国内からは大阪YMCA日本語学校、国際専門学校の留学生や国際高校の生徒、外部の大学生の合計70人が参加しました。

今年の最終テーマに選ばれたのは「男女平等」。「デートの支払いは男性がすべきか」「女性専用車は、男女平等に反しないか」といった身近な問題から「今後100年で男女平等は達成されるか」といった大きなテーマで自分の意見を発表し、議論を深めました。さらに、「これからはLGBTの存在にも配慮しなければならない」との意見も出しました。

大阪YMCAグローバル事業推進室 田尻忠邦

架け橋となる生き方を求めて(山梨ハイY卒業生の会)

【山梨YMCA】

8月5日、瑞牆山（標高2230m）の麓に、山梨ハイY卒業生ら39人が集いました。ハイYとは、“High School YMCA”の略称で、高校YMCAのことです。山梨では、1948年から公立・私立高校に広がり、聖書研究とボランティア活動をしていました。

かつてこの地で生きていた、戦災孤児が暮らす養護施設でのワークと粗末な宿舎や食事でも一生懸命に生きる子どもたちとの共同生活。そんな過去の共通体験が、私たちにはあります。

当時の私たちは劣等感に襲われたり、社会へ批判の目を向けたりする一途なところがありました。孤児の現実に触れ、なぜ戦争を始めたのか、もっと早く戦争を止められなかったのかを考え、人間は何のために生きるのかという内なる声に押し出され、キャンプ生活の中で聖書を学んだ体験もありました。



養護施設園児と薪運び作業(1961年)

「これ皆一つとならん為なり」(ヨハネ17:21)——そんな生き方ができるのでしょうか。私たちは不完全で小さな者ですが、聖書によって導かれる時、新しい可能性が開かれます。山梨ハイYは40年にわたり2,000人の卒業生を送り出し、牧師4人、YMCAスタッフ4人を生み出しました。

卒業生は現在も山梨YMCAを支えるボランティアとして協力しています。山梨YMCA常議員 岩間孝吉

お知らせ

第7回 日中韓YMCA
平和フォーラムが行われます!!

12月16～20日に韓国・光州にて行われる日中韓YMCA平和フォーラムに、全国から参加者を募集します。

このフォーラムは2004年以来、日中韓で2年ごとに開催され、過去に思いをはせながら、未来の平和のために議論してきました。

第5回（広島）、第6回（南京）には多くのユースが参加し、学びと交流を深めました。今年にはユースによる実行委員会を組織してフォーラムを企画し、韓国現代史の大きな分岐点である光州民主化運動について学び、それぞれの国の民主主義や平和について議論します。



第6回日中韓平和フォーラム(2015年)

韓国では、1980年5月18日、戦後から続く軍事独裁政権に反対して光州の市民、青年が武器を手に政府軍と戦い、多くの命が失われました。韓国の民主主義の原点となる精神は、昨年の韓国大統領弾劾を求めるデモ集会や抗議活動にも受け継がれています。

東北アジアの平和と友好のために共に考えていきましょう。

日本YMCA同盟インターン 高影希

プログラム概要

- 日時&場所：2017年12月16日（土）～20日（水）、韓国・光州
- 参加費：250\$（予定・渡航費別）※ユース補助2万円
- プログラム内容：礼拝、基調講演、グループディスカッション、コミュニティツアー、文化交流など

※詳細は追って各YMCAを通してお知らせいたします。

2017年度 世界YMCA/YWCA合同祈禱週

世界YMCA・YWCAでは、11月の第2週目の日曜日からの1週間を合同祈禱週として、毎年一つのテーマのもとに、聖書からのメッセージを聴き、祈りを共にする時として定めています。今年も、以下のテーマのもとで祈りを合わせます。1週間の日にちごとの具体的なタイトルと参照する聖書の箇所は下記の通りです。

テーマ **立ち上がり、思い切って言いなさい。**
～抑圧や、差別におかれた人びとの声を～
日程 2017年11月12日（日）～18日（土）

- 第1日 立ち上がり、思い切って言いなさい (マルコによる福音書 10章46-52節)
- 第2日 立ち上がる壁を取り除いて (エフェソの信徒への手紙 5章11-14節)
- 第3日 荒野で聞こえる声 (コリントの信徒への手紙II 10章5節)
- 第4日 黙っているな、わたしがあなたと共にいる (使徒言行録 18章9-10節)
- 第5日 あなたの口に、わたしは言葉を用意しておく (申命記 10章17-19節)
- 第6日 主よ、聞こえました。私は思い切って声をあげます (箴言 31章9節)
- 第7日 抗う者たちの力 (ローマの信徒への手紙 8章18-21節)